

宮城 寛諄

議員



力対力では平和は訪れない。どう思うか

[答] 外交努力で平和につながる

問 ロシアによるウクライナへの侵攻が始まって、3か月を過ぎるという状況である。この責任は国連憲章を蹂躪したロシアプーチン政権にある。戦争になった背景には、「力対力」に陥った外交の失敗にあったと言わざるを得ない。ところで、日米首脳会談で、岸田首相は、防衛力強化を述べ、軍事費の増額をアメリカに約束している。こういった力対力の先に、決して平和は訪れない。町長はどう思うか。



町長 武力ではなく外交努力で安全を保障していく取り組みが平和の実現につながる。

問 敵基地攻撃能力の保有は、専守防衛が大原則の憲法9条下で決して許されない。岸田内閣の言う改憲では平和は守れないと考えるが、町長はどう考えるか。

町長 現憲法は、我が国の平和と安定、発展に重要な役割を果たしてきたと認識しており、現段階で改正する必要はない。



憲法九条の碑

農家に救済措置を

問 原油、原材料価格の高騰、肥料などの価格上昇も予想される。町として救済を考えられないか。

町長 国・県の動向を注視しながら、地方創生臨時交付金を活用した支援策の情報収集を行っている。

問 将来の「南風原市」を目指せ！一番分かりやすい市への昇格条件が、人口5万人以上である。2点目に中心的市街地に全戸数の6割以上が存在。3点目、商工業その他都市的な業態に従事する者及び同一世帯の数が全人口の6割以上、4点目の県の条例で定める都市施設、その他の都市要件について、こういった状況にあるか。

企画財政課長 人口ビジョンで修正が必要。2点目、3点目、4点目の県条例11項目についても概ね満たしていると判断している。

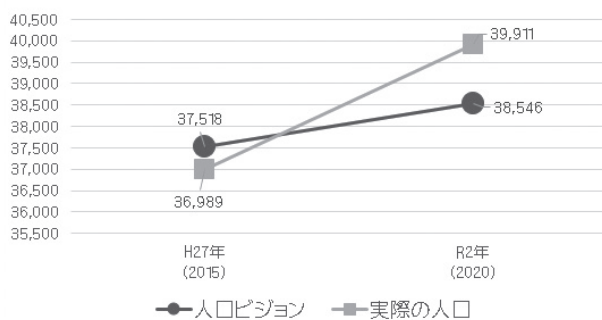


将来の「南風原市」を目指せ！

[答] 深く考えた事がない。

照屋 仁士 議員

人口ビジョンと実際の人口



問 市への昇格を提案している。この現状を踏まえ、「南風原市」昇格、どう考えるか。

町長 市へ昇格に関し、深く考えた事がない。

問 私は公私にわたり、全国各地を訪問してきた。少子高齢化社会の中で、人口対策が一番の課題だと実感する悲痛な声を聞いてきた。様々な調査や推計、現在ある計画を否定するものではないが、本町はまだ人口が増えている。また増やせる要素があるうちに政策として、将来市へ昇格できる人口5万人を目指すべきと考える。町長の見解はどうか。

町長 人口5万人を政策として掲げる事は、現段階では考えていない。

こんな質問もしました

・黄金森平和ガイドの安心安全強化を